

『何か変?!』

(桜井正智氏へ敬意を込めて正規性の考察)

時空を超えることは、
特別なことではない。

物事を察知する能力は、
誰もがマスターできるスキルであり、

知覚を呼び醒ませば、
癒しのエネルギーを感じとることもできる。

しかし奇妙なのは、
現在が満ち足りているのに、
さらに、黄金の未来を探し求め、
いつまでも過去の間違いを悔やむ。

こっけいで奇妙なのは、
効果がないのに古い習慣を繰り返し、
多くの人が自分を犠牲にし、不幸の種を作る。

すべての現象を説明する一つのドグマを

あるいは、とても不可解に満ち溢れた宇宙の中で
「当たり前」のふりをする事。

ミン： 脳の大きさはたったの1,400立方センチメートルしかないのに、宇宙の広大さを思い描けるなんて、すごいと思わない？幅が1,560億光年もあるものを想像できるなんて！

アンドレイ： 人間の洞察力って、その愚かさと同じくらい驚くべきものだと思う。ときどき、私たちの無知の深さには本当に驚かされるよ。それでも、私たちは時に、より高次の次元への洞察を得ることができる。日常の退屈な現実を超えた深い真理を、直感的に感じている人も多いんじゃないかな？

ティン： そうかもね。それに、宇宙的な時間のスケールから見れば、私たちはまだ子どもみたいなものじゃない？何億年も経てば、私たちの種は、もっと賢くて倫理的な存在に進化するかもしれない。今の私たちは、あまりにもしばしば野蛮で愚かです。

ティム： もし人類が生き残るチャンスがあるとすれば、進化的な変化を起こす必要がある。今の国家体制と過剰消費のあり方は、もはや持続可能じゃない。大量絶滅は、十分にあり得る未来だ。

アンドレイ： その考え方は、現実を突きつけられるようで、ハッとさせられるね。宇宙からエイリアンが来て私たちを殺す心配なんていない。